



地域とともに歩み、  
地域の未来を拓く学校

湖南省立石部小学校  
校報第139号

令和3年(2021年)1月15日  
文責: 校長 法山 由紀子

## 「明けない夜はない！」

令和3年(2021年) 今年もよろしくお願いします！

新しい年が明けました。

年をまたいでもコロナ禍という状況には変わりありません。けれど、「新しい一年が始まった！」というどこか凛とした身の引き締まる思いを感じています。

今年は「丑年」。牛は古来から人間を助けてくれる大切な動物であり、特に大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから「がまんする」「耐える」というイメージがあります。

今年はまだまだコロナが終息しない中で、がまんして耐えなくてはならないことも多いでしょう。でも、新しい一年「コロナだから」と何もせずしがまんするのではなく、「いのち」最優先にしながら、「ピンチをチャンスに変える」これまでの石部小学校の姿勢を貫いていきたいです。

がまんし、耐えながらも、今、子どもたちは知恵をしぼって考えることを止めてはいません。力を蓄えています。牛がゆっくり歩むように、一步一步子どもたちは成長しています。今蓄えた力が必ず芽を出すときが来る！ 子どもたちの勢いにはそう感じさせられる力があります。

そんな子どもたちの「えがお」のために今年も力を尽くしてまいります。どうか保護者、地域の皆様方の変わらぬご支援を今年も引き続きよろしくお願いいたします。

「明けない夜はない」！！ 「今」が「幸せ」につながることを信じて。

## 石部中学校区連携

石部中学校区の教職員がつながって「自尊感情を育む」取組

石部中学校区の3校(石部小、石部南小、石部中)は「石部の子どもたちの自尊感情を育む」という大きな目標を掲げて、この十年来「校区連携」の取組を続けています。

毎年3校が一回ずつ授業を公開し、校区内のすべての教員で授業をとらして児童生徒の様子を語り合い、自尊感情を育む手立てについて情報交換を行っています。今年度はコロナの影響で参加者数を限定する形となりましたが、13日(水)に本校で授業公開を行いました。

参加いただいた他校の先生方から、「落ち着いて授業が進められている」「どの学級もここにいたいなあと感じる雰囲気がある」「一人ひとりの子が大事にされている」等うれしい感想をいただきました。

最後に全員で「自尊感情を育むためには安心感のある学級づくりが大切」ということを確認しました。



## 不審者対応訓練を行いました(1/12)

今年度3回目の避難訓練は、不審者が校内に侵入したことを想定してどのように対応すればよいかを確認しました。実際あってはならないことですが、万が一に備えて、子どもたちは、先生の指示に従って落ち着いて真剣に行動できていました。

不審者役の教頭先生からは「声をかけられたり、人が集まってこられたりすると、ここには入りにくい」と感じたという話がありました。

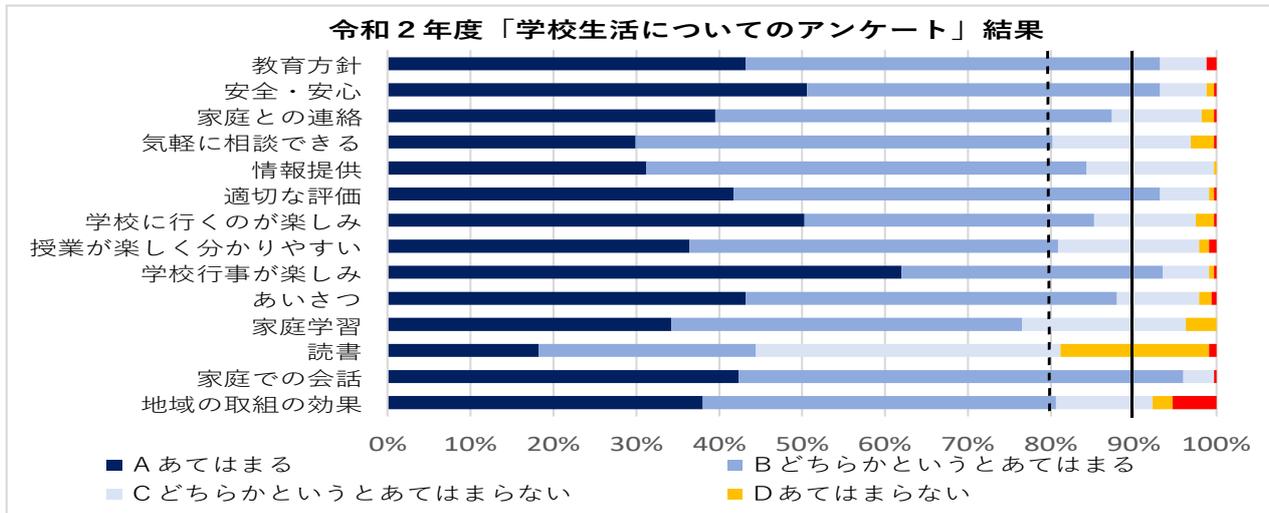
一方で、「抑止力」を高めるためには、普段からあいさつを交わし、雰囲気のよい学校や地域をつくっていくことも大切であると感じました。



## 令和2年度「学校生活についてのアンケート（保護者）」集計速報

12月に保護者の皆様のご協力を得て実施いたしました「学校生活についてのアンケート」につきまして、下記のグラフのような結果となりました。

各項目で、A「あてはまる」 B「どちらかというにあてはまる」という肯定的な回答が80%以上であれば「おおむね目標を達成している」、さらに、90%以上であれば「目標をよく達成している」と評価しています。  
(回収率324/410 79%)



### 結果より見えてきたこと

△▼は昨年度との経年変化を表しています。(△プラス・▼マイナス)

#### 肯定的回答が90%以上の「目標をよく達成している」項目

- 学校は「地域とともにある学校」として地域と連携し、「地域の未来を拓く子どもの育成」に努めている。93.2% (▼2.5%)
- 学校は、子どもの安全・安心を守るために努力している。93.2% (▼2.2%)
- 学校は、子どもの姿をよく見て、適切な評価を行っている。93.2% (△6.3%)
- 子どもは、学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。93.5% (▼1.0%)
- 家庭では、子どもの話をよく聞き、親子で会話をしている。96.0% (△2.4%)

- \*昨年度は肯定的回答90%以上が4項目でしたが、今年度はそれに加え、「学校は子どもの姿をよく見て、適切な評価を行っている」が90%を超えました。前年度より6.3%も上昇しています。
- \*今年度も、学校経営の方針をご理解いただいていること、地域の力をお借りしながら危機管理に努めていることに高い評価をいただいたことをありがたく思います。ただ危機管理については、特に校舎内を含め敷地内の安全管理に貴重なご意見をいただいています。今一度対応を強化していきます。
- \*今年度はコロナ禍の影響で、子どもたちの不安も高くなっていると思われます。そんな中、子どもの話をよく聞き親子の会話が増えていることは、子どもたちの大きな支えになっていることでしょう。

#### 肯定的回答が80%に届かなかった項目

- ▲子どもは、家で読書に取り組んでいる。44.4% (△2.0%)
- ▲子どもは、家庭学習に取り組んでいる。76.5% (△0.9%)

- \*昨年度は80%に届かなかった項目が上記の「読書」「家庭学習」2項目を含め4項目ありましたが、そのうち次の2項目が80%を超えました。
  - 「子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている 80.9% (△1%)」
  - 「学校には、子どもの学習や健康、子育ての悩みを気軽に相談できる80.2% (△1.5%)」
- \*ただ「授業が楽しく分かりやすい」は、下学年(1~3年)で84.8%の肯定的回答が上学年(4~6年)になると77.1%になり、7.7ポイントも減少しています。
- \*「読書」と「家庭学習」については、今年度の学ぶ力向上の取組の重点項目でもありますが、まだまだ数値が伸びていません。こちらは、上学年(4~6年)の方が下学年(1~3年)より、「読書」4%、「家庭学習」4.8%、ポイントが上昇しています。

集計結果をお知らせしましたが、引き続き次回も学校評価にふれていく予定です。この結果から課題を洗い出し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。